

小規模多機能型居宅介護 サービス評価 【樹林】

- ◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日(19:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	1人	人	13人

前回の改善計画	ケースミーティングで実施計画を読み込み、本人のニーズを知る
前回の改善計画に対する取組み結果	7月から毎月1回のケースミーティングを利用し、利用者1人をあげて、実施計画を読み込むことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	1		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	9	2		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	6		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新しくサービス利用をされる利用者に対して、各スタッフが情報収集をし、質問できるようになり、個々の意識が高くなってきている。 利用者とは話をし、本人のニーズの聞き取りを行った上で、ミーティングや記録などで共有することができる。計画に応じて、リハビリや運動、体調の変化などの対応を実施している。 毎日を安心して過ごしていただけるように、変化に気づき、不安や戸惑いがないように目配りをし、ひとつ一つの声掛けをしたり、説明をしたうえで支援できるようになってきている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族とのコミュニケーションが少なく、情報の不足、本人の生活歴や趣味などを深く知ることはできていない。 出勤日以外の情報はつかみにくく、全体に共有できていないことがある。ミーティングに参加するメンバーが限られている。 人手不足で、利用者の困りごとなどにゆっくり聞けない、寄り添えないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ミーティングに参加しやすい工夫をする スタッフ全体で共有できるような工夫をする 利用者の思いに寄り添えるような時間を増やせるようにしたい	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	3人	人	13人

前回の改善計画	実施計画を読み込み、本人と直接コミュニケーションを図り、本人の思いを引き出す技術を身に着ける
前回の改善計画に対する取組み結果	実施計画の読み込みはミーティングでできるようになったが、計画を元に日常で実施できているかは不明

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	5		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	5		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	4		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	6	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の目標を意識し、達成できるように努めた。 日常のコミュニケーションの中や、ミーティングでどんな目標があるのか、何がしたいのか考えるようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること バタバタと時間が過ぎ、日常の表面的な援助にとらわれていることがある。 スタッフ間の意識の違いなどで、全体で援助の統一ができていない。 利用者の満足度達成感の振り返りができていない。 短時間での勤務では、本人と密にコミュニケーションがとれないので、本人の思いが理解できない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 実施計画の検討会はそのまま継続することで、スタッフの意識も高まると思われる 日常の援助の中で、利用者の思いにつながった生活、運動や趣味ができるようになるとういと思われる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	7人	人	13人

前回の改善計画	自己評価の項目を普段からスタッフに意識をしてもらう
前回の改善計画に対する取組み結果	まだまだ意識してもらえていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	12		13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	3		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	7		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個々に合わせた介護について、日々スタッフ間で検討・実施・記録・共有ができている。 例えば、誤嚥性肺炎が続く方については、食事形態の対応や、食事中の見守りを行う。認知症の方のトイレのやり方については、本人にとって安心してベストなやり方をスタッフ間で共有し、スタッフも安心して介護をすることができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の気持ちを十分に引き出さず、介護側の提案が先行してしまうことがある。スタッフ中心の視点になっている。 自宅での過ごし方、以前の暮らしを把握できていない。 本人の声にならない声に気づけていないため、問題が表面化するまで気づけていない。 時間に追われている、勤務時間が短いなどの理由で聞き取りができない、または作業優先になっている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の思いを聞き取れる時間や聞き取り技術の伝達を行える環境づくり 本人中心の視点になって援助ができるような意識づくり
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	2人	13人

前回の改善計画
ミーティングで地域資源（散歩の方々、ボランティア）や、本人の地域での関係性の情報交換ができる
前回の改善計画に対する取組み結果
一部の利用者の地域での関係性をスタッフで共有することはできているがまだまだである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	4		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		9	4		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	8		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人と何度もコミュニケーションをとっていくと、自ら生活のこと家族のこと、昔のことなどを話して下さることがある。 自宅に訪問や送迎することで生活スタイルを感じとることができる。 家族から情報収集ができる機会があれば、自宅での過ごし方や、困りごとなどを聞くようにしている。 地域のイベントや、散歩で地域の方に声をかけていただき、本人との関係などを聞くことができる。 民生委員さんが樹林の行事に参加して下さり、顔見知りになることができる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
短時間の勤務のため、地域との関係性はわからない。 本人の地域の関わりや、自宅での生活を把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
情報をよく知るケアマネや一部のスタッフが他のスタッフに情報発信する必要がある	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	2人	11人

前回の改善計画	事業所の外は地域であることの意識ができています 地域に貢献、役割を持つことの自覚ができる 地域とつながっている多機能性を理解する
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の行事にできるだけ参加できるように意識できた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	6	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8		1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	10		1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	10	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の変化をよく観察し、柔軟に支援ができています。 本人の在宅での生活状況、家族の生活スタイルに合わせた柔軟な援助ができています。 地域とつながれる利用者は事業所への依存度も低く、本人・家族共に自立できている部分が多いので、援助内容もいざという時の専門性を出せるようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 樹林の体制（人手不足）で本人の気持ちや状態に応じて柔軟な援助ができないことがある。 日々の変化が著しい場合は全体への情報発信が遅れる場合があり、一部のスタッフにしか共有できていないことがある。 本人の体調や気持ちの変化に合わせた援助の判断に不安がある。 地域とのつながりにまだ経験や理解が浅い。 認知症の方の地域との関係づくりができていない。 地域までの余裕がない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域へ地域での樹林の役割まで伝えきれていない（スタッフの理解も不足） 認知症の方が在宅で暮らせることをあきらめないためには地域の方とのコミュニケーションも必要
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	3人	人	13人

前回の改善計画	イベント（流しそうめんや焼き芋大会など）を復活し、地域の方も参加していただく。窓を開けて、登下校の小学生や、散歩の保育園児にみんなであいさつする。
前回の改善計画に対する取組み結果	保育園との交流を初めて実施できた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	5		4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	3	1	4	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	4	5	2	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	3	3	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 芋ほりを、保育園児と初めて実施できた。 地蔵盆・芋ほりで地域の方、子供たちと触れ合えている。 登下校の小学生や散歩の保育園児に気づくようにしている。みんなであいさつできるようにしている。 必要な会議には参加している。 まちづくりセンターでの祭りに参加できた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域とのコミュニケーションが不足している、機会がない。 夜間想定での避難訓練ができていない。 樹林を認知されていない？地域の方が樹林を訪問されることが少ない。 お地蔵様にお参りされる方を見るが必ず挨拶ができていない。 感染のリスクもあるので地域交流にも限界がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域の方が、樹林を訪れていただくための方法を考える 避難訓練など、なかなか実施できないことから挑戦する
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	3人	人	13人

前回の改善計画	業務内容の改善、効率化させて、余った時間をおとしよりの時間に利用できるようにする 業務改善についてスタッフで洗い出し、検討、改善実施ができるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	ゆっくりではあるが、記録等の業務改善を行うことができている 毎月の運営会議で、業務改善や、新人教育について話し合いができている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	5		4	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	3	1	4	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	5	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	3	3	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見や苦情を受けた場合、早い段階でスタッフとの共有、反省・改善・報告を行うようにしている。 利用者や家族からの意見などは誰かに相談するようにしている。 業務改善につながる意見や、気づきをミーティングで発信し、利用者支援に活かそうとしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 業務を効率的に進めることに意識が向いていることがある。利用者の安全確保や思いが優先であることに 気持ちが向かれていないことがある。 スタッフ間で業務のバランス、負担量の格差がある。利用者のサービス量の違いがある。 ICT化を導入したが、タブレットと紙媒体とで重複する部分があり、作業の手間が増えている。 短時間勤務のスタッフが多く、情報収集に消極的であり、周知に時間がかかる。また、パソコン・タブレットの使えないスタッフが多い。 ミーティングや普段の現場で意見を言えていない。意見を言うことにためらいがあり、改善の機会を逃してしまうことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフ間の業務負担の格差を少しでもなくす。 介護での業務改善のポイントを周知する。 全てのスタッフが自分の思いを伝えられる職場環境にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日 : ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	5人		13人

前回の改善計画
ヒヤリハットを挙げる、検討する 事故の振り返り、再発防止 リスクマネジメントの繰り返しの周知 スタッフ全員が年1回は研修に参加できるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
事故の報告と、再発防止の検討、実施ができています。ご家族への周知もできています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	4	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	7	1	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	2	3	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	4	3	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	最低限、年に1回は研修に参加できるようにしている。 ヒヤリハットや気づきのあった時は情報共有し、再発防止に努める。 事故発生時にはすぐに報告書を作成し、改善策を考えられている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	短時間勤務や、家庭の事情により研修等に参加できていない。 新人スタッフが増えているため、リスクマネジメントなどの理解が浅く、日々の援助で事故がおきないか心配である。 薬関係の事故が頻繁に起きている。何度も再発防止に取り組んでいるが、どうしてもミスが起こる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ZOOMやアーカイブなどを利用しての昼間の研修時間を確保できるようにする。 リスクマネジメントや急変時、事故発生時に備えてスタッフの教育体制を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月12日（ : ~ : ）

9. 人権・プライバシー

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	4人	人	12人

前回の改善計画	おとしよりがおられるフロアでのスタッフ間の連絡や相談内容は、個人名が特定できないようにする または別室で話をする 成年後見制度の勉強会が必要。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人名が特定できないような申し送りができるように意識できるようになってきたが、依然利用者の聞こえる範囲で話していることも多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない		7	5	1	13
②	虐待は行われていない		5	6	2	13
③	プライバシーが守られている		4	4	3	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している		4	4	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	3	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>個人情報（病気や家族、家庭環境など）の申し送りは名前を紙に書いて伝える、別室で話すことを意識する。利用者には他の利用者の話をしない。聞かれても答えない。</p> <p>虐待防止について、毎月の運営会議で振り返る機会を取っている。</p> <p>日々、この援助は身体拘束ではないかを意識するようにしている。</p> <p>トイレに他の方が入らないように「使用中」の札をかける。</p> <p>宿泊用の個室は性別を考慮して部屋割りをする。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>個人情報について、すべてのスタッフが守られているとは思わない。</p> <p>スタッフの情報共有においてスタッフ個人の感情的な意見が混ざっていることがある。</p> <p>人手不足や余裕がなく、大きな声で話す、ドアを閉めるなどの動作や「ちょっと待って」などの言動、無意識に行っている行動があると思う。</p> <p>利用者の聞こえるところでスタッフ同士が利用者のことを話し込んでいることがある。</p> <p>成年後見制度を理解できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>スタッフ全員に個人情報保護、身体拘束、虐待防止について、日々意識できるよう、ポスターなどで掲示していく。</p>	